

映画 あいぽーと徳島企画

はなちゃんのみそ汁

《2015年作品（日本）上映時間118分 字幕あり》

わたしたちをつなぐ、おいしくてあったかい記憶

がんでこの世を去った千恵、33歳。5歳の娘と夫、愛する人へ伝えたい、いのちのメッセージ。

出演：広末涼子、滝藤賢一 ほか



日時

11月11日 土

10:00~12:00ごろ
(開場 9:40)

会場

ときわプラザ
(徳島県立男女共同参画交流センター)

2階ブライダルコアときわホール
徳島市山城町東浜傍示1
(アスティとくしま内)

定員
142名
無料
申込不要

先着順（当日9時30分より整理券を配布します。定員に達しましたら入場を制限いたします。）

主催

- ◆ あいぽーと徳島（徳島県立人権教育啓発推進センター）
指定管理者 特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット
- ◆ ときわプラザ（徳島県立男女共同参画交流センター）

あいぽーと徳島

徳島県立人権教育啓発推進センター
指定管理者 特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14
沖洲マリナーミナルビル内

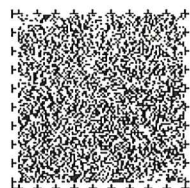
Tel.088-664-3719

Fax.088-664-3727

あいぽーと徳島

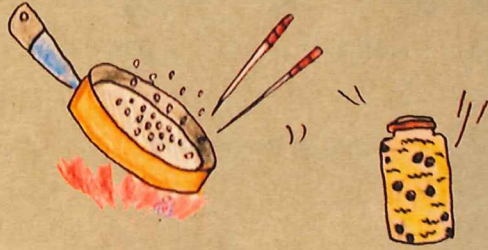
検索

<http://www.aiport.jp>



問合せ先

食べることは 生きること。



日本中が涙した! ベストセラー実話エッセイを映画化!

(期待の子役)

広末涼子×滝藤賢一×赤松えみな×青窈、豪華キャストの幸せなアンサンブル

がんでこの世を去った千恵、33歳。5歳の娘と夫、家族との日々をつづったブログを基にしたエッセイ「はなちゃんのみそ汁」は2012年に発売されるやいなや、常にひたむきな明るさで生きる安武一家の姿が日本中で大きな話題を呼び、関連書籍やテレビドラマ化、教科書への採用など社会現象を巻き起こし、このたびついに映画化。結婚、妊娠、出産と人生の転機をがんと闘い、食を大切に生きてきた千恵を演じるのは、広末涼子。夫・信吾を今や日本映画界になくはならない滝藤賢一が演じ新境地を見せている。娘・はなは、1,000人超のオーディションで選ばれた演技経験ゼロの新星・赤松えみなが

演じる。また彼女たちを見守る家族や仲間として、鶴見辰吾、赤井英和、古谷一行、高畑淳子、平泉成といった豪華面々による競演が実現した。2013年キネマ旬報ベストテン日本映画第一位に輝いた『ペコロスの母に会いに行く』で脚本を担当した阿久根知昭が、本作でも脚本を務め初のメガホンを握る。主題歌を担当するのは生前に千恵さんが好きだった歌手、一青窈。本作のために書き下ろしたオリジナル曲『満点星』を優しく強く歌いあげる。

「私はツイていた」と前向きに生きる千恵たちの姿が、この冬日本をあたたかい涙で包みこむ。



ちゃんと作る、ちゃんと食べる——大切な家族へ、愛するひとへ伝えたい、いのちのメッセージ

恋人との何不自由ない幸せを夢見ていた千恵はある日、乳がんを宣告される。見えない不安に怯える千恵に信吾は優しく寄り添いプロポーズをする、こうして2人は晴れて夫婦となった。抗がん剤治療の影響で卵巣機能が低下、出産をあきらめていた千恵だが、ある時妊娠していることが分かる。産むか産まないか——産むということはがんの再発リスクが高まり、自らの命が危険にさらされるということだった。


周りの支えで命を懸けて産むことを決意し、はなを無事出産。しかしながら、家族3人、幸せな日々は長くは続かず、千恵を再び病魔が襲い、残り少ない命を覚悟。私がいなくなってもはなが暮らしていけるようにと、千恵は経節を削って作るころから始めるみそ汁など料理や家事の大切さを教えはじめる。彼女たちのおいしくてあったかい、かけがえのない日々が続いていく。




主題歌

一青窈
「満点星」
(ユニバーサル ミュージック / EMI Records)



 車イス席のご利用をご希望される場合は、事前に「あいぽーと徳島」までご連絡を下さい。

 ヒアリングループを設置しております。
イヤホンが必要な方は、受付でお申しつけ下さい(数に限りがあります)。

無料託児あります。【申込制】
対象: 1歳から就学前までのお子さま
ときわプラザこども室
Tel.088-655-4638